

# きよみずでら 清水寺古道マップ



## ⑦ 右 清水寺 左 白山神社

林の中の道が一旦舗装道路に出る。道路を横切り小高い丘の上に四アリあり笹道を行くと白山神社の祠が桧の大木に囲まれて建つ。左の小高い山に中世の山城があった。また、白山神社があり、5月に例祭が行われる。仁王門に通じる古道は、この先右の尾根に残っている。



## ⑤ 三界萬靈等 地蔵菩薩 南無阿彌陀佛

休み堂跡から少し斜面を登った道路東に並んでいる。地蔵菩薩（享保18年・1733年）と、名号碑はこの下にあった休み堂から移設され、三界萬靈等は昭和40年に堂ヶ入線が開道した折、開道記念として建立された。



## ③ 大黒不動明王 地蔵菩薩

堂ヶ入から山の急斜面を登る途中の松林の中にある。松の根元に地蔵菩薩と不動明王碑が立っている。眼下に堂ヶ入砂防ダムが緑の水を湛えている。休み堂跡までアマコエの沢を左に250m。



## ① 右 清水道

小坂大日から入る。石柱右に「右清水道」と彫られた自然石の道標が立つ。後ろには双体道祖神や石仏が並んでいる。大日堂を経て古道入口まで1km。



## ② これより清水寺古道

ログハウス手前に自然石に彫られた石仏と「左きよみづ」の指差し道標が並ぶ。天平元年（729年）僧行基が自ら千手觀音像を彫って安置し創建したといわれる寺である。その頃から人々の往来が盛んになり、古い歴史と物語が秘められた古道（ふるみち）がここから始まる。



山形村観光協会

長野県東筑摩郡山形村 2025-1  
TEL:0263-31-6220 FAX:0263-31-6282  
監修:山形村史談会